

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	当院における前立腺癌手術後再発に対する救済放射線治療についての臨床研究（後ろ向き試験）
研究責任者 (所属科名)	桐生浩司 (放射線治療科 主任部長)
本研究の目的・意義	<p>前立腺癌の根治的治療には手術療法と放射線治療がある。近年ロボット手術などにより低侵襲化という点で手術療法はめざましい発展をとげている。一方、前立腺手術後に PSA 再発をきたし、前立腺床に対する放射線治療を必要とする症例も多い。</p> <p>前立腺癌術後再発に対して放射線治療は根治的治療となりうる手段であり、randomized controlled trialsにより、生化学的な有効性が認められている。術後放射線治療の生化学的効果に關与する因子は多様であることが知られており、臨床的因子としては術前／術後／放射線治療前の PSA 値、PSA 倍加時間、全摘術後救済放射線治療までの期間、総線量、病理学的因子としてはグリソン スコア、切除断端浸潤、精嚢浸潤、被膜外浸潤、脈管浸潤、神経線維周囲浸潤、リンパ節転移が報告されている。</p> <p>今回、前立腺癌 T1-4NOMO における手術後再発に対し放射線治療を施行した 163 名に対し、治療効果、有害事象について後ろ向きに検討する。(予定である)</p>
調査方法・研究期間	<p>後ろ向き観察研究</p> <p>放射線治療後の 5 年粗生存率、5 年原病生存率、5 年 PSA 再発率、5 年臨床的再発率</p> <p>有害事象について</p> <p>研究期間 倫理委員会承認後～2022 年 12 月 31 日を予定しています。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様；前立腺癌 T1-4NOMO における手術後再発に対し放射線治療を施行した患者様</p> <p>★利用する情報</p> <p>再出血・PSA 再発の有無、臨床的再発、生存の有無を見るための臨床データ。有害事象を調べるためのカルテ閲覧</p>

個人情報の取り扱い	<p>本研究に関係する全ての研究者はヘルシンキ宣言（日本医師会：http://www.med.or.jp/wma）および人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号：http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/02/1354186.htm）に従って本研究を実施し患者の保護に努め、個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は個人の人格尊重の下、厳重に保護され慎重に取り扱われる。利用する情報から、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報削除します。また、研究結果学会等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報利用しません。</p>
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	<p>桐生浩司 広島市立安佐市民病院 放射線治療科 〒731-0293 広島市安佐北区可部南 2-1-1 TEL082-815-5211 内線 3721</p>
備考	